# 日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年6月6日火曜日

# Autonomous Databaseでインバリッド・オブジェクトの一括コンパイルする

Always FreeのAutonomous DatabaseのAPEXを23.1にアップグレードしたところ、Flows for APEX やサンプル・アプリケーションのビューやパッケージのステータスが軒並みインバリッドになっていました。

放っておいても初回アクセス時に自動コンパイルされバリッドに戻るとは思うのですが、そもそも Autonomous Databaseでインバリッド・オブジェクトの一括コンパイルを行う手順が分からなかったので調べてみました。

オンプレミスの環境では、**\$ORACLE\_HOME/rdbms/admin/utlrp.sql**を実行するのが一般的だと思います。

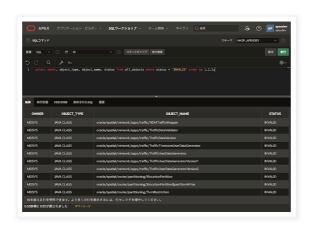
ORACLE-BASEの以下の記事を参考にしました。

## Recompiling Invalid Schema Objects

インバリッド・オブジェクトを確認します。

APEXから操作することを想定して、DBA OBJECTSではなくALL OBJECTSを検索します。

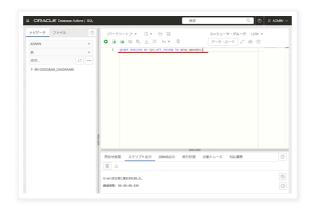
select owner, object\_type, object\_name, status from all\_objects where status = 'INVALID' order by 1,2,3;



元記事にあるマニュアルの手順およびutlrp.sqlとutlprp.sqlの実行は、検討の対象外です。残りはパッケージUTL\_RECOMPとDBMS\_UTILITYの利用になります。

UTL\_RECOMPについてはAPEXのワークスペース・スキーマは実行権限が与えられていないようです。呼び出すには管理者ユーザーADMINで実行権限を与える必要があります。

grant execute on sys.utl\_recomp to <APEXのワークスペース・スキーマ>;



実行権限が与えられていれば、APEXのSQLコマンドからUTL\_RECOMPを呼び出すことができます。 SYSでパッケージ名を修飾する必要があります。

#### begin

sys.utl\_recomp\_recomp\_serial(schema => 'スキーマ名'); end;



しかし管理者ユーザーがgrant文を実行するなら、そのままリコンパイルした方が早いです。

DBMS\_UTILITY.COMPILE\_SCHEMAは、デフォルトで実行権限が割り当たっているようです。APEXからであれば、こちらを使ってインバリッド・オブジェクトの一括コンパイルを行う方が簡単です。

#### begin

dbms\_utility.compile\_schema(schema => 'スキーマ名'); end;



以上になります。

完

Yuji N. 時刻: <u>17:08</u>

共有

**☆**一厶

## ウェブ バージョンを表示

#### 自己紹介

#### Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.